出水市議会議長　道上正己　様

出　水　市　長　渋谷俊彦　様

第三者調査委員会の早急な設置を求める要望書

いじめ問題を考える会
（代　表）草　野　要　作
中村幹年（遺族）
（事務局）　出水市緑町 46 - 1
（0996 - 62 - 0510）
（連絡先）　080 - 5254 - 3547
（中村）

【趣旨】

2015 年 12 月 15 日鹿児島地裁は中 2 女子生徒自殺後、2011 年 9 月当該校が実施したアンケートの部分開示を命じる判決を下し今年 1 月 8 日在校生 395 人のうち 368 人が回答。その 3 割に当たる 113 人が記入したアンケート結果がＡ４版全 7 頁にわたって開示されました。その内容から女子生徒が〝きもい〟と言われて仲間はずれにされ、物がなくなる、持ち物が壊される、スカートが汚される等部活を中心にいくつものトラブルにまきこまれ〝いじめ〟という言葉が 36 回も出てくることからも明らかなようにクラスと部活の両方でいじめから逃れられず追い詰められていく様子が想像できるものになっています。
しかし出水市教育委員会はここにいたっても「いじめは確認できなかった」「再調査するつもりはない」と遺族の願いに背をむけたままです。いじめ防止対策推進法は「地方公共団体の長は、遺族の申し出があれば適切かつ真摯に対応すること」としています。法の趣旨にもとづいて次の項目について早急に対処してくださいますよう署名を添えて要望いたします。

【要望項目】

1、事故の真相究明と再発防止のために中立性・公平・公正性を担保した第三者調査委員会を市長部局下に早急に設置すること。

2、その際遺族の意見を最大限尊重し合意形成の上ですすめること。

【署名】

氏　　名	住　　所